

- 問1 北アメリカ大陸のロッキー山脈より東側に広がる地形区分について、西から東へ向かって並んだ名称の組み合わせとして正しいものを、次のうちから選びなさい。（2021年 滋賀県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|
| 1. プレーリー、グレートプレーンズ、中央平原 | 2. グレートプレーンズ、中央平原、プレーリー | 3. グレートプレーンズ、プレーリー、中央平原 | 4. 中央平原、プレーリー、グレートプレーンズ |
|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|
- 問2 アメリカ合衆国の農業において、降水量や気温、地形といった各地域の自然環境に合わせて、その土地に最も適した農作物を栽培する仕組みを何とといいますか。（2015年 佐賀県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|--------------|---------|--------|
| 1. 適地適作 | 2. モノカルチャー経済 | 3. 地産地消 | 4. 二毛作 |
|---------|--------------|---------|--------|
- 問3 世界の大豆の生産統計において、生産量の上位4か国には、南北アメリカ大陸に位置するアメリカ合衆国、ブラジル、アルゼンチンのほかに、アジア大陸の東部に位置する国が1つ含まれています。このアジアの国と、北アメリカにある主要な生産国の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2023年 長野県公立入試 類似）
- | | | | |
|------------|-----------|---------------|----------------|
| 1. カナダとインド | 2. カナダと中国 | 3. アメリカ合衆国と中国 | 4. アメリカ合衆国とインド |
|------------|-----------|---------------|----------------|
- 問4 アメリカ合衆国において、メキシコなどに近い南部や西部の州に多く分布する、中南米諸国にルーツを持つスペイン語系の人々を何と呼びますか。（2025年 宮崎県公立入試 類似）
- | | | | |
|-----------|---------|----------|--------|
| 1. ヒスパニック | 2. アジア系 | 3. アフリカ系 | 4. 先住民 |
|-----------|---------|----------|--------|
- 問5 2000年代初頭と現在の南北アメリカの貿易状況を比較した資料によると、アメリカ・カナダ・メキシコ間での強い結びつきに加え、近年ではアルゼンチンをはじめとする南アメリカの国々と、中国などのアジア諸国との経済的な関わりが急速に強まっています。南アメリカにおいて、アルゼンチンやブラジルなどの国々が域内での経済統合を目指して結成している組織として適切なものを選びなさい。（2025年 兵庫県公立入試 類似）
- | | | | |
|----------------|---------------------|---------------------|--------------------|
| 1. ヨーロッパ連合（EU） | 2. 南米南部共同市場（メルコスール） | 3. 東南アジア諸国連合（ASEAN） | 4. 北米自由貿易協定（NAFTA） |
|----------------|---------------------|---------------------|--------------------|
- 問6 五大湖周辺からピッツバーグにかけての資源分布を示す資料において、四角の記号で示される石炭や、三角の記号で示される鉄鉱石の産地が近隣に点在している状況が確認できる都市はどこですか。（2022年 群馬県公立入試 類似）
- | | | | |
|-----------|-------------|-------------|-----------|
| 1. ピッツバーグ | 2. ニューオーリンズ | 3. サンフランシスコ | 4. ヒューストン |
|-----------|-------------|-------------|-----------|
- 問7 ある統計資料において、小麦の生産量が非常に多く、かつ自給率が100%を大幅に超えているアメリカ合衆国のような国の農業の特徴について説明した文として、正しいものはどれですか。（2021年 静岡県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--------------------------------------|---|--|
| 1. 家族経営を中心とした小規模な農地で、多種類の作物を少しずつ栽培している。 | 2. 労働力を集約的に投入し、手作業を中心とした緻密な耕作を行っている。 | 3. 広大な土地で大型機械を利用し、低い生産コストで大量生産を行う企業的な農業である。 | 4. 灌漑施設が未発達なため、天候に左右されやすい自給的な農業が中心である。 |
|---|--------------------------------------|---|--|
- 問8 世界の農産物生産量において、大豆の32.5%、とうもろこしの35.2%という極めて高い世界シェアを占める一方、小麦のシェアは10.6%にとどまり、カカオ豆の生産がほとんど行われていない地域はどこですか。（2026年 福岡県公立入試 類似）
- | | | | |
|-----------|----------|-----------|-----------|
| 1. 南アメリカ州 | 2. 東南アジア | 3. 北アメリカ州 | 4. ヨーロッパ州 |
|-----------|----------|-----------|-----------|
- 問9 アメリカ合衆国中央部のグレートプレーンズでは、地下に広がるオガララ帯水層から地下水をくみ上げ、大型の散水機を円を描くように回転させる「センターピボット方式」による大規模な農業が行われています。この農業の継続にともない、現在発生している深刻な環境問題として最も適切なものはどれですか。（2024年 宮崎県公立入試 類似）
- | | | | |
|------------------------------|-------------------------------|------------------------------------|--------------------------|
| 1. 化学肥料の大量使用による、周辺河川の深刻な水質汚染 | 2. 不適切な放牧と森林伐採にともなう、急速な砂漠化の進行 | 3. かんがいによる塩分の集積を原因とした、耕作放棄地の拡大（塩害） | 4. 過剰なくみ上げによる、深刻な地下水位の低下 |
|------------------------------|-------------------------------|------------------------------------|--------------------------|
- 問10 冷帯（亜寒帯）が分布する北アメリカ大陸北部などの高緯度地域において、冬の寒さが非常に厳しくなる理由として最も適切なものを選びなさい。（2025年 岩手県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|---|---------------------------------------|
| 1. 年中風が強く吹き荒れるため、地表の熱がすべて熱帯地域へ運ばれてしまうから。 | 2. 冬の間は太陽の高度が低く、日照時間も短いために地表が受ける熱量が少なくなるから。 | 3. 周辺の海域を流れる暖流の影響によって、強い寒気が大陸内部へ押し出されるから。 | 4. 赤道から遠く離れているため、夏の期間が存在せず年中氷点下が続くから。 |
|--|---|---|---------------------------------------|
- 問11 アメリカ合衆国のグレートプレーンズにおいて、センターピボット方式を用いたかんがい農業の継続が困難になると危惧されている理由について、現地の状況を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2024年 宮崎県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. トウモロコシから大豆への作付け転換により、必要な水の量が急激に減少したため | 2. 最新の節水技術の導入により、地下水をくみ上げるコストが大幅に上昇したため | 3. 地球温暖化による降水量の増加で、地下水に塩分が混じり農業に適さなくなったため | 4. 地下水の再生速度を大幅に上回るペースで、農業用水の過剰なくみ上げが行われているため |
|--|---|---|--|
- 問12 アメリカ合衆国の産業の変化と地域的特色について述べた文のうち、サンフランシスコ周辺に位置する「シリコンバレー」の説明として最も適切なものを選択してください。（2016年 大阪府公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 北緯37度以南の温暖な地域に位置し、安価な労働力を背景に航空宇宙産業や石油化学工業が発展している。 | 2. コンピュータや半導体に関連する企業や研究機関が集中しており、世界の先端技術産業をリードしている。 | 3. 広大な土地を利用した企業の農業が盛んであり、バイオテクノロジーを用いた穀物の品種改良が行われている。 | 4. 五大湖周辺に位置し、かつては鉄鋼業や自動車産業で栄えたが、現在は施設の老朽化が課題となっている。 |
|--|---|---|---|
- 問13 アメリカ合衆国の自然環境と農業地域の関係について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2025年 熊本県公立入試 類似）
- | | | | |
|------------------------------|-----------------------------------|-------------------------------|---------------------------------------|
| 1. 年降水量が少ない西部を中心に、放牧が行われている。 | 2. 年降水量が多い地域ほど、乾燥に強い作物の生産が行われている。 | 3. 年降水量が比較的多い地域で、主に放牧が行われている。 | 4. 年降水量に関わらず、全土で均一にとうもろこしや大豆が栽培されている。 |
|------------------------------|-----------------------------------|-------------------------------|---------------------------------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 グレートプレーンズ、プレーリー、中央平原	北アメリカ大陸の中央部は、西側にそびえるロッキー山脈から東の海岸線に向かって、高度を下げながら地形が変化していきます。山脈のすぐ東側には比較的乾燥したグレートプレーンズが広がり、その東側に半乾燥の草原地帯であるプレーリー、さらに東側にはより湿潤で平坦な中央平原が位置しています。この配列は西から東へ向かうにつれて降水量が増加する気候条件とも対応しています。
問2	答え 1 適地適作	アメリカ合衆国では、年降水量500mmのラインとされる西経100度の経線を境に、東側の湿潤な地域ではトウモロコシや大豆、西側の乾燥した地域では小麦の栽培や放牧というように、自然環境に応じた合理的な作付けが行われています。
問3	答え 3 アメリカ合衆国と中国	大豆の生産は、広大な農地を活用した企業的農業が盛んな南北アメリカ大陸の国々（アメリカ合衆国、ブラジル、アルゼンチン）が中心となっていますが、アジアにおいては東アジアに位置する中国が上位4か国に含まれる主要な生産国です。カナダやインドも農業が盛んな国ではありますが、大豆の生産量においてはこれら4か国が世界の中心的な役割を担っています。
問4	答え 1 ヒスパニック	アメリカ合衆国では、メキシコに隣接する南部や西部にかけて、ヒスパニックと呼ばれる人々の割合が高くなっています。なお、南東部にはアフリカ系、アラスカ州などには先住民が多く分布しています。
問5	答え 2 南米南部共同市場（メルコスール）	アルゼンチン、ブラジル、パラグアイ、ウルグアイなどが加盟する経済組織で、域内の関税撤廃などを通じて経済発展を図っています。近年の貿易統計では、かつて主要な貿易相手だったアメリカとの関係だけでなく、資源や農産物の輸出先として中国や日本との結びつきが強化されている点が、現代の南北アメリカ経済の特徴です。
問6	答え 1 ピッツバーグ	アメリカ合衆国北東部に位置するピッツバーグは、原料産地に近いという立地条件（原料指向型）を活かして発展しました。これに対し、ヒューストンは石油化学工業、サンフランシスコ周辺は先端技術産業（シリコンバレー）といった、異なる特徴を持つ工業都市です。
問7	答え 3 広大な土地で大型機械を利用し、低い生産コストで大量生産を行う企業的な農業である。	高い自給率と膨大な輸出量を両立させている国々の多くは、企業的穀物農業を行っています。これは広大な土地に資本を投下して機械化を進めることで、効率的に大量の穀物を生産する仕組みです。小規模な家族経営や手作業中心の集約的な農業とは対照的な、大規模農業の形態を指します。
問8	答え 3 北アメリカ州	大豆やとうもろこしの生産で世界的に高いシェアを持っているのは北アメリカ州（主にアメリカ合衆国）の特徴です。北アメリカ州では小麦の生産も盛んですが、大豆やとうもろこしほどの占有率ではありません。また、カカオ豆は低緯度の熱帯地域で栽培される作物であるため、温帯から冷帯が中心の北アメリカ州ではほとんど生産されません。
問9	答え 4 過剰なくみ上げによる、深刻な地下水位の低下	アメリカ合衆国のグレートプレーンズで行われているセンターピボット方式のかんがい農業では、オガララ帯水層という広大な地下水資源に頼っています。しかし、1950年から2015年の間に地下水位がある地点で約70メートルも低下したというデータがあるほど、自然に補充される量を上回るスピードで地下水をくみ上げ続けており、水資源の枯渇が大きな問題となっています。塩害や砂漠化も世界的な環境問題ですが、この地域の地下水利用に直結する課題としては地下水位の低下が最も適切です。
問10	答え 2 冬の間は太陽の高度が低く、日照時間も短いため、地表が受ける熱量が少なくなるから。	高緯度地域では、冬になると太陽の南中高度が低くなり、日照時間も短くなります。その結果、地表が受ける太陽からの熱量が著しく減少するため、冷帯（亜寒帯）では冬の寒さが特に厳しくなります。
問11	答え 4 地下水の再生速度を大幅に上回るペースで、農業用水の過剰なくみ上げが行われているため	グレートプレーンズの農業を支えるオガララ帯水層の地下水は、長い年月をかけて蓄えられたものであり、雨水などが地下に浸透して補充される量には限りがあります。センターピボット方式によって大規模にかんがいを行う際、この補充されるスピードをはるかに上回るペースでくみ上げを続けているため、持続的な水利用が難しくなっています。この「再生速度と利用速度のミスマッチ」が、地下水位の著しい低下を招いている根本的な原因です。
問12	答え 2 コンピュータや半導体に関連する企業や研究機関が集中しており、世界の先端技術産業をリードしている。	シリコンバレーは、従来の重工業中心の産業構造から、知識集約型の先端技術産業（ICT産業）への転換を象徴する地域です。選択肢にある「北緯37度以南」の説明はサンベルト全体の特徴を指しており、五大湖周辺の説明はラストベルト（古くなった工業地帯）を指しています。シリコンバレーはサンベルトの一部に含まれることもありますが、特にICT産業の集積地としての個別の特徴を捉えることが重要です。
問13	答え 1 年降水量が少ない西部を中心に、放牧が行われている。	アメリカ合衆国では、年降水量が少ない西部で乾燥に適した放牧が行われ、比較的降水量が多い地域でとうもろこしや大豆の生産が行われています。